

行動安全観察方式での保安教育の実施

一般製造-3-1-1

		BEHAVIORAL SAFETY VISIT		実施日時: 2011年3月9日	No.BSV-IOD-ATH-110314
		サイト: K K O K	観察者 1: △△氏	観察者 2: □□氏	
		現場: 消防設備	被観察者: 藤岡 陽平		
		作業 / 課題: 消防ポンプ定期運転停止作業	会社名(協力会社の場合):		

観察に基づく所見	種別 PP DA/DC	被観察者のコメント及び返答	決定された対策/Action	即時 対応	後日 対応	対策についての		
						担当者	期日	完了
1 自動起動設備	DA	消防ポンプは自動起動するため、点検時は自動起動を解除する。また連絡を確実に言う	チェックリストを全面見直し行う。 (作業手順転用)	—	3/24	〇〇氏	3/25	済み
2 消防ポンプ運転 (エンジン及び電気)	DC	運転時の回転計、油圧計、圧力計、流量計等の正常かの判断が不十分である。	運転時の回転計、油圧計、圧力計、流量計、流れ方向等の運転範囲を現場表示する。	—	3月 末	〇〇氏	3/25	済み
3 消防ポンプ運転 (エンジン及び電気)	DC	油温等安定していないのに定期点検を終了した。	運転値が安定するため運転する。手順書に盛り込む 油温安定等	—	3/24	〇〇氏	3/25	済み
4 異音確認	—	聴診棒がない	聴受け部等の異音確認すること	3/14	—	—	—	—
5 バタフライ弁の理解	—	全開、全閉状態位置が不十分	サンプルバルブにてレバーと開度位置関係を理解する。	3/14	—	—	—	—
6								
7								
合計								
良かった点	PP							
危険行為	DA							
危険状態	DC							

DHSEMR - Décembre 2008

第三者による観察により作業行動時のリスクを抽出する BSV 法 (BEHAVIORAL SAFETY VISIT)を保安教育に導入。

作業者の上長が作業を観察してアドバイスや是正対応を図り、チェックを行う。

事業所名: 北九州オキシトン (株) 北九州工場
所在地: 北九州市
従業員数: 15名